

探鉱技術委員会活動方針

探鉱技術委員会の開催(年6回)と委員会活動の円滑な実施

- ・話題提供、公開勉強会による知見・技術・経験・情報等の紹介・交換
- ・春季講演会の地質・探鉱シンポジウムの実施、特集号の発行
- ・春季講演会個人講演会の円滑な実施
- ・次年度春季講演会の地質・探鉱シンポジウムの企画
- ・大学との技術交流
- ・委員会活性化に向けた運営体制の見直し

委員会の専門活動・日常活動としての分科会活動の実施

- ・砂岩分科会（座長：渋谷・江口）
- ・炭酸塩岩分科会（座長：八木・安河内）
- ・物探分科会（座長：稲盛・寺本）
- ・探鉱新技術分科会（座長：早稲田・森田）

協会活動・関連学会・その他、関連した事業活動への協力

- ・幹事会連絡（担当：石橋・及川）
- ・特別見学会（担当：徳橋・池田・河合）
- ・用語解説（担当：河合）
- ・会誌編集委員会（担当：徳永）
- ・ホームページ委員（担当：及川・石本）
- ・地質学会（石油・石炭地質学と有機地球化学セッション：金子）
- ・日本地球惑星科学連合（プログラム委員：後藤（主）・戸丸（副））

以上

探鉱技術委員会分科会活動方針

砂岩分科会（座長：渋谷岳史氏・江川浩輔氏）

- ・年 2 回程度の分科会を開催し、委員を中心とした探鉱・開発に関連するケーススタディの紹介、学会・巡検の参加報告などを通して砂岩・砕屑岩に関連する情報交換と相互交流をはかる。
- ・会員以外からも専門家や講師を招き、関連する分野での最新の技術動向を紹介する。

炭酸塩岩分科会（座長：八木正彦氏・安河内貫氏）

- ・年 2-3 回程度の分科会を開催し、炭酸塩岩一般から貯留層特性、探鉱開発ケーススタディ等、広く炭酸塩岩に関する話題を提供し、委員を中心とした参加者との情報交換、相互交流を計る。

物探分科会（座長：稲盛隆穂氏・寺本晃庸氏）

- ・年 2-3 回の分科会を開催して、ケーススタディの紹介や物理探査技術上の課題・情報を通じて共通する問題への理解を深め、関連する分野の最新の技術動向を議論する。
- ・テーマは、各種物理探査データ取得・処理法、各種データ解析技術、総合解釈技術、岩石物性、坑井内・坑井間地震探査、三次元・四次元物理探査、油層構造物理探査、物理探査周辺技術など。

探鉱新技術分科会（座長：早稻田周氏・森田澄人氏）

- ・新しい石油探鉱技術を紹介・検討することを目的とする
- ・既存の分科会（物探・砂岩・炭酸塩岩）の枠組に入らない分野、あるいは複数にまたがる分野を対象とする。たとえば、地化学・テクトニクス・検層技術・地質統計学・分析技術など。
- ・これらを専門とする研究者あるいは実際に応用している技術者を招いて、話題提供、議論を行う。年 2-3 回、原則公開で開催する。

以上